

東日本大震災 被災地への救援活動

ユニーの役割は、お客様の生活を支えることです。2011年3月11日、東北地方を中心に巨大震災が発生し、同時に起こった津波とともに、未曾有の被害をもたらしました。ユニーの店舗も茨城県・埼玉県の一部で建物被害を受けましたが、幸いにもお客様や従業員にけがはありませんでした。しかし、東北・関東・静岡の一部の店舗では、店内の商品や内装が落ちたり、停電・ガス・水道などの不通など営業に支障のきたす状況ではありましたが、被害の大きかった3店舗を除き、翌日には全ての店舗で食品・日用品の販売を行いました。

緊急災害復興支援

地震発生後、直ちに対策本部が設置され、翌日3月12日・13日には、緊急支援物資としてミネラルウォーター・カップ麺・マスクなど3,500万円相当を福島県・宮城県・岩手県のそれぞれの災害対策本部の指定場所へ10tトラック12台で届けました。また緊急災害復興義援金として3月16日に、5,000万円を日本赤十字社へ寄付しました。3月12日から従業員や店頭でのお客様からの募金活動により、引き続き義援金を日本赤十字社を通して贈っています。 ※2011年6月30日までの累計、6億5,052万7,218円（ユニーグループ全体）



ユニーグループ災害救援物資の表示を付けたトラックで届けました

従業員の家庭から集めた救援物資お届け

被災者のなかでも一番弱者である、特別養護老人施設や認知症の方、身障者の方に、ユニーの従業員が家庭にあるタオル・バスタオル・毛布などの贈答品などを持ち寄り、ユニーの店舗から大人用紙おむつと一緒に送りました。

- 発送個数：348箱（タオル・バスタオル・毛布）、大人用紙おむつ（250箱）
- 支援先：特別養護老人ホーム「聖母の家」（社会福祉法人あけの星会）、社会福祉法人東北福祉会



各店舗から寄せられた救援物資は全ユニー労働組合の協力で仕分け、発送しました

被災地への救援物資の発送

弥富物流センターでは東日本大震災の被災地に向け、救援物資の発送を致しました。今回の東日本大震災はライフラインを直撃し、物流網が寸断され、車両の確保、緊急車両通行証の発行がスムーズに進まず大変な思いを致しましたが、改めてこういう状況下での物流の役割の重要性を再認識いたしました。

また、ユニーの従業員一人ひとりの善意を、被災地の方々に送り届けることができ、感謝状を頂きました。今後も、この経験を活かして物流業務を通じて社会貢献活動を行って参ります。



弥富物流センター
大山 尚代マネジャー

地域貢献

「認知症の人と家族」支援 お買い物セーフティネット

ユニーは認知症の方にもお買い物を楽しんでいただけるように、東海市・東海市社会福祉協議会・NPO「HEART TO HEART」に賛同し、「認知症買い物セーフティネット実行委員会」の取り組みに協力しています。「認知症」は病気です。その症状を知り、どのようなお手伝いができるのか、また介護されている家族の方へのフォローなど、従業員や保安警備担当にも教育を実施し、安心してお買い物ができるよう努めています。



店舗従業員に認知症を知り、対応について考える教育を実施



店長が警備や設備担当の関係会社の従業員に教育を実施



お客様に理解を促すために、パネル展を開催

全店一斉クリーンキャンペーン

ユニー創業100周年キャンペーンの一環として、全店の従業員が店舗や事業所周辺の道路や公園などの清掃活動を行いました。毎日の清掃活動に加え広い範囲を清掃することにより、お世話になっている地域への関心を深めることができました。

環境デーなごや2010で
アビタ名古屋北店が表彰大垣市環境市民フェスティバルで
アクアウォークが表彰

各地の環境展に出展

● メッセナゴヤ



● モリコロパーク



● エコパル（名古屋市環境学習センター）



● Mieこどもエコフェア

